

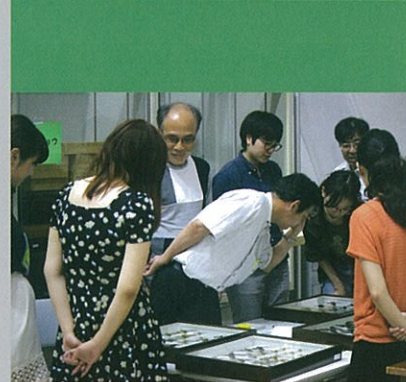
建築・生命・ダンス — IHS 教育プロジェクト「生命のかたち」



2013 年度に発足した東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「多文化共生・統合人間学プログラム (IHS)」は、2014 年度に修士・博士課程の第一期生を迎えました。本教育プログラムは、今日の社会における共生の問題を解決するための学知を「統合人間学 (Integrated Human Sciences)」と名づけ、その根幹に新たな「教養 (リベラルアーツ)」を据えた新たな大学院プログラムです。そこでめざされるのは、高度な専門性を備えたいうで、さらに広い視座を獲得し、新たな価値を創造・発信・実践していく学知の習得にほかなりません。

本展覧会は、その IHS の教育プロジェクトのひとつである「生命のかたち」の成果報告会として開催されるものです。この教育プロジェクトでは、「生命」と「かたち」という二つのキーコンセプトを通して、近代的な「人間中心主義」を超える新たな人間学に向けた教育を行なっています。そこでは主に、1) 「生命」に関する最先端の自然科学と人文科学のあいだに「橋」をかけること、2) 自然の事物とさまざまな文化的構築物 (建築、芸術、都市など) を連続的な視点で捉えること、3) さらにそれらの応用として、以上の視点をさまざまな文化活動の現場に還元することがめざされています。

本展覧会では、建築・生命・ダンスという三つのテーマに沿って、2014 年度の「生命のかたち」プロジェクトの主な活動をご紹介します。本プロジェクトでは、2014 年夏学期にフランス各地における約一週間の研修旅行を実施しました。本研修は、ル・コルビュジエの設計によるラ・トゥーレット修道院や、シュルレアリスムに多大な影響を与えたシュヴァールの理想宮を実際に訪れることで、建築という「生命のかたち」に触れることを目的としたものです。さらに冬学期には、コンテンポラリー・ダンサーの山田せつ子氏の指導のもと、みずからの身体というもっとも身近な「生命のかたち」に触れるためのダンス・ワークショップを五回にわたって実施しました。本展覧会は、文字・写真・映像などを中心に、学生たちによるこの一年間の成果を提示するものです。「建築」パートにおけるル・コルビュジエの図面や建築模型、「生命」パートにおけるさまざまな生物の細胞や輪郭、さらには「ダンス」パートにおける身体のうねりを通じて、この一年間の IHS 「生命のかたち」の活動が、ひとつの多様な生命として展開していく姿を見て取っていただければ幸いです。



問合せ先：東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部 駒場博物館

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

TEL:03-5454-6139 FAX:03-5454-4929

MAIL: komabamuseum@adm.c.u-tokyo.ac.jp